

Oguchi おおぐち社協だより

Shakyo

第124号

2023
10
月号

年4回発行
(4月・7月・10月・1月)

町内福祉施設見学バスツアー

(令和5年8月9日 大口町内の福祉施設にて)



大口社協は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

CONTENTS

- ② ★赤い羽根共同募金がはじまります
- ③ ★令和4年度社協事業報告／決算報告
- ⑨ ★サロン連載コーナー「なかおおぐちふれあい喫茶」
★ふれあいサロン通信
- ⑩ ★ぎゅっと おもちゃ病院・甘酒おやつレシビ
- ⑪ ★介護豆知識 高血圧症予防
- ⑫ ★ボランティア情報局 夏休み出前講座レポート
- ⑭ ★ちょっと、いいこと。

- ⑮ ★町内福祉施設見学バスツアー
★フリースペースれんげそう
★運転ボランティア養成講座を実施
★善意だより
- ⑯ ★災害ボランティアコーディネーター養成講座
★手話ボランティア養成講座
★身体障がい者日帰り旅行 参加者募集

社会福祉法人

大口町社会福祉協議会

事務局

月～金(土日祝・年末年始休) 8:30～17:15
電話 (0587)94-0060 FAX(0587)94-0059
〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地
大口町健康文化センター(ほほえみプラザ)2階

ホームページ

<http://www.oguchi-shakyo.or.jp>

Eメール

chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp





赤い羽根共同募金

つかいみちの情報公開は [赤い羽根データベースはねっと](#)

検索

10月1日から赤い羽根共同募金が始まります



Art by ろむにー © CFM

毎年、共同募金運動に多くの町民の皆様のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

今年度も、区長さんを通じて各家庭に寄付をお願いする「戸別募金」、企業や法人に寄付をお願いする「職域募金」「法人募金」、町内小中学校での「学校募金」、スーパー店頭での「街頭募金」などにより募金活動を実施いたします。

皆様から寄せられた募金の約88%は、大口町の福祉のまちづくりに役立てられており、残りの約12%は愛知県内の広域的な活動や各地の災害支援に活用されています。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

大口町共同募金委員会 会長 村田貞俊



皆様のあたたかいご支援をお願い申し上げます



第75回 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール 学校推薦作品 展示日程のご案内

日程	場所
9月22日～10月5日	大口町健康文化センター 1階 町民ギャラリー
10月11日～10月24日	MEGAドン・キホーテ大口店 2階 エスカレーター前
11月4日	ふれあいまつり 「ふくしわくわくランド」ブース内

みにきてね～!



➡ P3～P8の事業報告にて、大口町の赤い羽根共同募金のつかいみちを詳しく紹介しています

令和4年度 社協事業報告

去る令和5年5月29日(月)の理事会、6月12日(月)の評議員会により、令和4年度の事業報告と決算報告が承認されました。

なお、令和4年度の事業報告、財産目録、資金収支計算書、貸借対照表は、本会公式ホームページで公開しております。

窓口で閲覧希望の方は、本会までお申出ください。

法人運営の基盤強化

理事会・評議員会の開催

●理事会

- 第1回 令和4年5月31日
- 第2回 10月17日
- 第3回 令和5年1月19日
- 第4回 2月9日
- 第5回 3月16日

●評議員会

- 第1回 令和4年6月15日
- 第2回 令和5年1月30日
- 第3回 3月23日



行政関係の会議等の出席

- 大口町高齢者サービス調整会議、障がい福祉調整会議、防災会議、子ども・子育て会議、国民保護協議会、愛知県社会福祉協議会地域委員会

機関紙発行事業

- 「おおぐち社協だより」を年4回発行
- ホームページで運営に関する情報を公表、事業をPR



福祉サービス苦情解決制度

- 第三者委員報告件数 8件

社協会員募集

- 一般・賛助会員 4,661件
- 法人会員 104件
- 会費合計金額 3,092,400円

顕彰表彰事業

- 大口町表彰式を開催
社協会長表彰 9名
(うち家庭介護5年以上3名)
社協会長感謝 3団体、1名
- 愛知県社会福祉大会
県共同募金会会長表彰 1団体

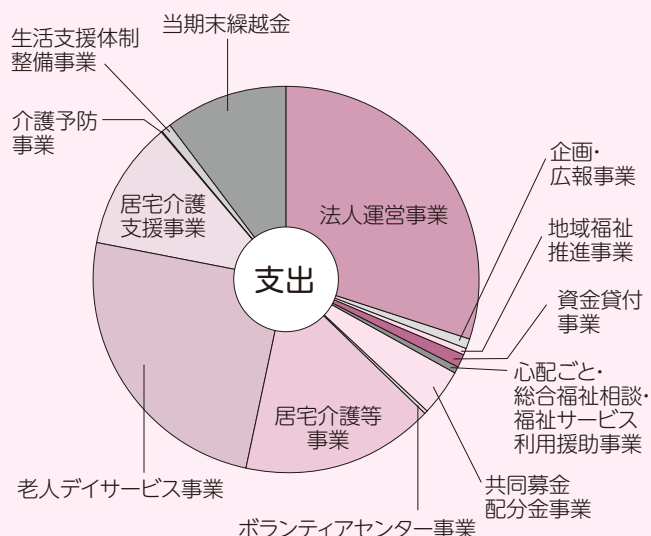
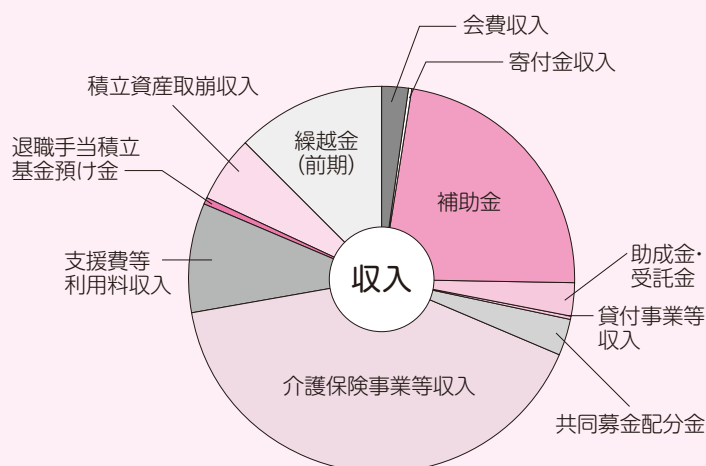
令和4年度 社協決算報告

収入の部

項目	金額(単位:円)
会費収入	3,092,400
寄付金収入	467,253
補助金	30,851,962
助成金・受託金	3,778,236
貸付事業等収入	474,800
共同募金配分金	4,199,431
介護保険事業等収入	55,190,330
支援費等利用料収入	12,189,572
退職手当積立基金預け金	918,550
積立資産取崩収入	7,627,880
繰越金(前期)	16,625,468
収入合計	135,415,882

支出の部

項目	金額(単位:円)
法人運営事業	40,914,967
企画・広報事業	1,065,794
地域福祉推進事業	580,595
資金貸付事業	1,738,135
心配ごと・総合福祉相談・福祉サービス利用援助事業	670,211
共同募金配分金事業	5,166,640
ボランティアセンター事業	338,253
居宅介護等事業	21,983,054
老人デイサービス事業	33,303,529
居宅介護支援事業	14,675,875
介護予防事業	25,486
生活支援体制整備事業	1,057,360
当期末繰越金	13,895,983
支出合計	135,415,882



「支え合いの地域づくり」の推進

ボランティアセンター事業

● ボランティア養成講座、研修の実施

① 点訳ボランティア養成講座(全7回)

令和4年 9月6日、13日、20日、27日

10月4日、11日、18日

(参加者数 2名)



② 傾聴ボランティア養成講座(全3回)

令和4年11月14日、21日、28日

(参加者数※ 15名程度) ※開催日により変動



③ 夏休みボランティア出前講座 代替事業

社協職員によるボランティアセンター所属団体と活動紹介

令和4年8月24日 南小学校体育館

8月25日 西児童センター



● ボランティアセンター運営委員会を開催

令和4年8月1日、令和5年3月14日

● ボランティアセンター運営委員会、ボランティア連絡協議会合同研修会を開催

令和5年3月14日

● ボランティア連絡協議会の活動支援(年6回)



● 大口町ふれあいまつりにて「ふくしわくわくランド」を実施

令和4年11月5日

※11月6日はステージ発表とおもちゃ図書館



● 他市町村のボランティア・社協と共催し、西尾張ブロックボランティアフェスティバルを開催(江南市)

令和5年1月22日

● ボランティア登録団体への活動育成費助成

助成団体 13団体、助成金額 201,431円

● ボランティア保険加入及び事故時等の事務

ボランティア活動保険加入者数

団体 33団体、個人 3名

総加入者数 352名(事故件数 0件)

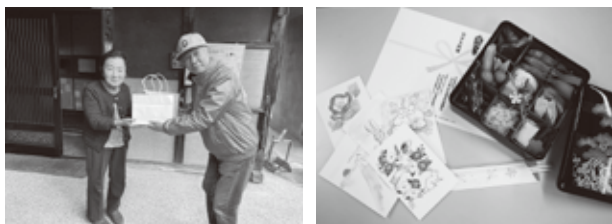
● ボランティア活動や派遣に関する相談・調整

相談15件、派遣2件



高齢者福祉

- 85歳以上の単身高齢者・高齢者世帯に対し、民生委員児童委員と大口町水彩画クラブの協力により、おせち料理配布事業を実施
令和4年12月30日(配布数79世帯)



- 満88歳の米寿の方に、敬老のお祝い品と絵手紙、メッセージカードを贈呈
(配布数 89名)



- 99歳以上の方に敬老お祝い品を贈呈
(配布数 13件)
- 介護者向け情報『介護豆知識』を社協だよりに掲載
- 認知症の人やその家族の支援、認知症予防の場として、認知症カフェ「オレンジカフェ・大口」の運営支援(10回)、中止時のメッセージカード郵送(2回)



- 孤立しやすい高齢者等を含め、地域住民の交流の場を広げる地域ふれあい会食会(テイクアウト方式)の開催を支援
(実施サロン 4か所 件数 8件)



児童福祉

- 町内小中学校と協働で、福祉教室(福祉実践教室・総合学習)を実施し、福祉教育を推進
(参加児童・生徒数 延1,139名)



- 子育てサロン「まむ*まむ」の活動支援
- おもちゃ病院おおぐちの活動支援



- 民生委員児童委員のドアノッキング事業に実施協力し、赤ちゃん訪問時にお祝い品をプレゼント
(5ヶ月訪問 208名、1歳訪問 207名)
- 青少年等ボランティア福祉体験学習事業
大口中学校JVC(参加者数 延39名)



- 感染症対策を講じ、少人数での町内福祉施設見学ツアーを実施
令和4年8月4日(参加者数 3名)
見学施設 14か所(うち施設内見学2か所)



「支え合いの地域づくり」の推進

障がい児者福祉

- 大町障がい者スポーツ大会を開催
令和4年10月8日(参加者数 55名)



- 身体障がい者日帰り旅行 代替事業
映像で楽しむ「名所めぐりツアー」を実施
令和4年8月30日(参加者数 9名)

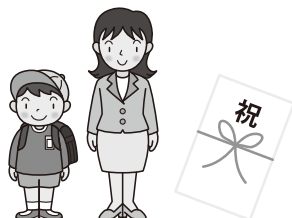


- 大口おもちゃ図書館さくらの活動支援
- 「フリースペースれんげそう」の運営支援
- 障がい者スポーツ用具の貸出 37件
- 障がい者スポーツ指導員の派遣 2件



母子父子福祉

- 親子ふれあいの一助となるグルメ券(3,000円分)を
配布する「ひとり親家庭ふれあいギフト事業」を実施
(配布世帯 184件)
- 母子寡婦福祉会の活動支援
- 小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を
対象にお祝い金を贈呈
(贈呈数 15件)



ふれあいサロン

- サロン備品について、初回購入及び故障・破損等による買替の助成
- サロン開催実績回数に応じた助成
- サロン活動に必要な備品の貸出
- サロンのPRや広報等ちらしを作成
- テーマ型サロンの運営支援

サロン名	開催回数・参加延人数
外坪区ほっこり	10回・360名
さつきヶ丘区サロンさつき	24回・770名
さつきヶ丘区元気会	24回・426名
大屋敷区にこにこ	19回・198名
河北区陽だまり	5回・170名
替地ふれあいサロン	12回・86名
豊田区どんぐりころころ	48回・435名
上小口区散歩道	2回・56名
フリースペースれんげそう	11回・100名
忘れな草の会	40回・191名
子育てサロンまむ*まむ	30回・306名
オレンジカフェ・大口	10回・150名
青空あかりサロン	2回・24名
さろんボッチャ	35回・749名
大屋敷新田地区いっぶく茶屋	0名(休止)
上小口萩島地区茶々会	0名(休止)
傾聴サロン笑桜会	0名(休止)
合計	272回・4,021名



- 各サロンが一同に会し、情報交換できる
「ふれあいサロン連絡会」を開催
令和4年4月25日(参加者数 33名)

食料支援

- フードバンク事業として、民間団体との連携や、地域住民や企業等からの寄贈により、生活困窮者の食料支援や子ども食堂への支援等を実施
(支援件数 24件、提供個数 799個)
- フードドライブの窓口を常設し、町内の家庭等で余っている食料品を募集
(受入件数 47件、受入個数 12,503個)



- コロナ特例貸付利用者に対して現況調査を行い、希望者に食料支援を実施(10件)



福祉関係団体への助成・活動支援

- 大口町身体障害者福祉協会、心身障害児(者)親の会、更生保護女性会、母子寡婦福祉会、保護司会、遺族会、尾北地区聴覚障害者福祉協会、大口しらゆり会への助成

行政区への赤い羽根共同募金配分

- 前年度の共同募金実績額に応じ、行政区の地域福祉活動に対して募金を配分

貸出事業

- 福祉車両、車いす、わたがし機、障がい者スポーツ用具等の貸出サービス
(総貸出件数 187件)



生活支援体制整備事業

- 第2層協議体(北地域)生活支援コーディネーターの受託
(活動件数 139件)
- ふれあいサロン活動の拡大を推進
- 住民参加型生活支援「おたすけ隊サービス」
利用会員 48名 協力会員 18名
年間活動件数 延62件
- ・生活支援ニーズとおたすけ隊サービス活動のマッチング
- ・関係者間の情報共有、生活支援サービス提供主体間の連携の体制づくり



- 「おたすけ隊サービス」研修会を実施
令和5年1月23日(参加者数 9名)
- 電動カート試乗体験事業(7件)
- 新型コロナウイルス感染症・濃厚接触者として、保健所から待機を求められた方や、その世帯で親族等によるサポートを受けられない方に対し、生活支援サービスを提供(買い物代行・薬の受取等)
(支援件数 14件)

その他(新型コロナウイルス感染者支援関連)

- 新型コロナワクチン接種おたすけサービス
 - ・ワクチン接種の予約代行
 - ・自宅からワクチン接種会場までの送迎
(利用者数 15名、利用件数 延22件)
- 新型コロナウイルス感染者やその世帯の濃厚接触者に対し、大口町と共同で食料品等が入った「自宅療養応援セット」を配達
(支援件数 470件)
※うち大口町管理のパルスオキシメーター配達 21件



「伴走型の個別支援」の充実

総合福祉相談事業

- 地域住民の多様な生活課題に関して、幅広く相談に対応
- 必要に応じ相談者と契約し、専門職が支援計画をもとに個別支援を実施
- ①福祉サービス利用援助
- ②日常的な金銭管理サービス
- ③日常生活に必要な事務手続き援助
- ④書類や通帳などの預かりサービス
- ⑤その他、世帯のニーズに応じた支援

対象者	契約者数	延支援件数
認知症高齢者等	3名	111件
知的障がい者 精神障がい者	6名	384件
合 計	9名	495件

福祉サービス利用援助事業

- 日常生活自立支援事業
(愛知県社会福祉協議会委託事業)
- 訪問調査、契約締結審査会への審査依頼
 - 利用者と契約し、生活支援員と専門職が支援計画をもとに上記①～④の個別支援を実施

対象者	契約者数	延支援件数
認知症高齢者等	1名	352件
知的障がい者	7名	1,501件
精神障がい者	2名	525件
合 計	10名	2,378件

安心・安全な介護サービスの提供

- 大口社協居宅介護支援事業所(ケアマネ)
介護保険 利用者実人数 138名
- 大口社協訪問介護事業所(ヘルパー)
介護保険 利用者実人数 26名
障害者総合支援 利用者実人数 30名
- 大口社協デイサービスセンター
介護保険通所介護 26名
介護予防通所型サービス 9名
介護予防通所型ミニデイ 15名
(令和5年3月末現在の利用者実人数)



貸付相談

- 生活福祉資金貸付制度の相談業務
(相談件数 26件)
※新型コロナ特例貸付(緊急小口資金・総合相談支援資金)を含む
- 民生委員と連携し、生活福祉資金の借受人世帯に対する償還指導
- 県くらし資金貸付(貸付状況 7件)
- 町くらし資金貸付(貸付状況 32件)

心配ごと相談所

- 県女性相談員による女性相談
- 県母子・父子自立支援員による自立支援相談
- 弁護士による弁護士相談を実施
(相談者数 延20件、相談内容 38件)

平常時における災害への備え

大口町防災啓発事業

- 家具転倒防止講座
令和4年11月12日(参加者数 9名)
- 災害ボランティアコーディネーター養成講座
(Zoom配信有)
災害ボランティアセンター設置運営訓練
令和5年2月4日(参加者数 20～24名)



- 北地域防災訓練にてブース出展を行い、携帯トイレの啓発を実施
- 尾北看護専門学校の防災訓練における地域ボランティア講習の実施
- 防災パネル展「東日本大震災から12年 忘れない3.11パネル展」を実施

災害時相互応援協定継続事業

- 岩手県遠野市社協との相互応援協定締結を活かした継続事業として、Zoomを使用した交流会及び情報交換会を実施
令和5年3月9日(参加者数 18名)

ふれあいサロン連載コーナー 第12回

中小口区

なかおぐちふれあい喫茶

日 程 毎週木曜日 時 間 9時～16時

場 所 中小口地区コミュニティセンター

参加費 無 料



なかおぐちふれあい喫茶は、地域の人が気軽に立ち寄れるように、毎週木曜日を「中小口区コミュニティセンター1日開放日」として、オープンしています。

開放日を設けたきっかけは平成21年頃に「他の地域でやっているサロンを中小口区でも始めてみないか?」という区長の呼びかけでした。地域の方に協力をお願いして有志を募り、中小口コミュニティセンター運営委員会を立ち上げ、何度も話し合いを重ねながら、平成23年に「開放日」がスタートしました。

当時は第2・4木曜日が開催日で、2階では、卓球・バドミントン・カラオケを楽しむ人、1階では、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しむ人など、毎回多くの方が訪れていました。

その後、サロン支援について、コロナ以前から本会に相談。令和5年4月より、社協の支援がスタートしました。

「ここに来てみんなとお茶を飲みながらおしゃべりするのが楽しい。地域に交流の場があるのはいいね。」と語るのは、当時から運営を手伝っているスタッフさん。

グランドゴルフ帰りの方や近所の方などが訪れ、お茶を飲みながら、最近あった出来事などを気兼ねなく話して、ゆったりとしたひとときを過ごしています。

代表の水野邦治さんは、「昨年6月からは、地域の方に気軽にもつと来てもらえるよう、毎週木曜日に開いています。気が向いたときに来て、何気ない会話で楽しい時間を過ごしてもらえるとありがたいです。」と話しております。



上小口区 散歩道



偶数月15日開催される「散歩道」には、毎回多くの方が訪れ、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しんでいます。参加者からは「いつも楽しみにしているの!」との声が。

この日も会場は終始にぎやかで、楽しげな雰囲気でした。

子育てサロン まむ*まむ



7月に子育てサロン「まむ*まむ」が七夕イベントを開催。

七夕飾りを作ったり、笹に飾ったりしました。また、短冊には「たくさんお菓子が食べられますように」などといった可愛らしい願いごとが書かれていました。

ふれあいサロン通信

人をつなぐ、孤立を防ぐ。地域福祉活動



大口子育て情報

ぎゅっと

【編集】大口町NPO登録団体
「まみーぽけっと」

【HP】<http://www.geocities.jp/mammypocket2003/>

おもちゃ病院の紹介をします。おもちゃ病院とは、壊れてしまったおもちゃを修理して再び遊べるようにしてくれるところです。修理代は原則無料ですが、部品の交換などで実費が必要な場合もあります。

おもちゃ病院おおぐち

- ☆場 所 健康文化センター2階
「まかせて広場」
☆日 時 第2土曜日 10:00～12:00
☆連 絡 先 大口町社会福祉協議会
☎0587-94-0060

☆活動内容

2007年から活動をしています。ふれあいまつりなどのイベント会場での移動おもちゃ病院もおこなっています。
「物を大切にすること」「思いやりの心」を子どもたちに伝えたいという思いで、動くおもちゃや音の出るおもちゃなどを治療します。

犬山おもちゃ病院 ポニー

- ☆場 所 犬山市福祉会館3階
☆日 時 毎週水曜日10:00～14:00
第1・3土曜日10:00～正午
☆連 絡 先 城東第2子ども未来園内
犬山市社会福祉協議会
☎0568-62-2508

☆活動内容

おもちゃ病院の他に「おもちゃ図書館 ポニー」があります。たくさんのおもちゃで遊ぶことができ、気に入ったおもちゃを無料で貸出してくれます。
ボランティアスタッフの方と子育てについてのお話もできます。

☆☆甘酒で葛餅風おやつ☆☆

甘酒は、飲む点滴と言われています。
お子さん用に甘酒を使ったおやつを紹介します。

- 材 料** (3～4人分)
・甘酒…200cc ・片栗粉…40g
・きな粉…適量

- 作り方**
- ①バットかタッパーに耐熱用のラップを広げておく。
 - ②甘酒と片栗粉をよく混ぜて鍋に入れ、ヘラで混ぜながら弱火で加熱。
 - ③とろみがついてきたら火を止めて、さらに少し混ぜる。
 - ④ラップに1cmくらいの厚さになるように広げて、濡らしたヘラで平らにならしたら、上にもラップを被せる(乾燥防止)。
 - ⑤粗熱が取れたら冷蔵庫で1時間ほど冷やして、好みの形にカット、好みで黒蜜などかけて。きな粉は茶漉しでふるってかけると上品になります(^^)。





いま、日本ではおよそ3人に1人が高血圧といわれています。
高血圧とは血圧が高い状態が続いてしまう病気です。その状態が長く続くと血管や心臓に大きなダメージを与えてしまいます。
そこで、今回はどのようなことに気をつけて生活を送ることで、高血圧を予防できるのかを紹介いたします。

○高血圧の状態が持続すると、動脈硬化が進行し、脳卒中や心筋梗塞が引き起こされたりします。
次の高血圧予防の方法を実践していただき、予防に努めていきましょう!

＜高血圧予防に効果的な方法＞

①塩分を減らす

(成人男性:8g未満、成人女性:7g未満、高血圧の方:6g未満)

減塩方法

- 漬物、梅干し等を減らす
- 外食やスーパーのお惣菜を減らす
- ソーセージやハム、インスタント食品等の加工食品を減らす
- しょうゆ、ドレッシング類は「かける」ではなく「つける」
- レモンなどの柑橘類やしょうが、しそ、ネギ、カレー粉等の香りやスパイスを利用して、味付けに変化をつける

③体重を増加させない

- 加齢とともに高血圧にもなりやすいため、肥満でなくても発症することはありますが、標準体重より多い人(BMI25以上の人)は、高血圧の発症率が4～5倍といわれています。

※BMIとは、身長からみた体重の程度を示す体格指数(男性・女性の違いはありません)のことです。

計算式は体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で表すことができるので、例えば身長160cm、体重50kgの人では「 $50 \div 1.6 \div 1.6 = 19.5$ 」となります。

⑤お酒を減らす

<1日あたり>

- 日本酒…1合(180ml)
- ビール…中びん1本(500ml)
- ワイン…グラス2杯(240ml)
- 焼酎(原液)…半合(90ml) 程度



⑦睡眠をしっかりとり

1日 7～8時間



②野菜・果物を多くとる

- 生野菜は1日350g(だいたい両手のひらに山盛りの野菜)を目標にとりましょう



だいたい
これくらいの
量を食べましょう!

④運動をする

1日30分程度の有酸素運動

- ウォーキングなら30分以上



⑥禁煙する



⑧時間に追われた生活をしない

心穏やかに過ごす



いとう内科循環器 伊藤 修医師監修の冊子参照

一気にすべてをやろうとするのは難しいですが、無理をせずできることから
少しずつ実践していきましょう!

【問合せ先】 大口町社会福祉協議会 TEL 0587-94-0060

ボランティア情報局

高齢者疑似体験 うさぎとかめ

7月27日(木)、南小学校体育館にて、21人の参加者でおこなわれました。指先や手足の不自由さ、聞こえにくさ、見えにくさを、重りやゴーグル、軍手などを使って疑似体験することで、日常生活でのお年寄りの感じ方を体験しました。



色が、よくわからないなあ。
この色で、あってるのかなあ。



いつもはできるのに、
500gの重りをつけると、
箸がうまく使えないよ。
おばあちゃん、大変な思い
してるのかなあ。



大丈夫？
やりにくいでしょう。
少し手伝うね。



災害救援ボランティア

8月19日(土)西児童センターにて、9人の参加者でおこなわれました。クイズで学ぶ防災ビデオをみた後、45Lポリ袋を使って、災害用トイレとカップを作りました。急な大雨のときにも使えるカップには、好きな模様や絵を描いて、防災を身近に学ぶことができました。



総務省消防庁が制作した
「クイズで防災を学ぼう」です。いろんなシリーズ
があるから、おうちの人と一緒に、見てね。



1枚目の黒い袋は、
便器に固定します。
2枚目の袋は、便座にかぶせて
固定するんだよ。



大きな袋が、
トイレやカップに
なっちゃうんだ。
おうちへ帰って、
話そう〜。

ボランティアお前講座

無事に開催できたことに感謝いたします。
みなさま、ありがとうございました。



大口おもちゃ図書館 さくら



8月23日(水)、南小学校体育館にて、参加者37人でおこなわれました。封筒から出すとイラストに色がつくマジックカード作成や、鍋の中の動く具を箸でつかむマナー鍋や、細い木の積み木KAPLA(カプラ)、大きさが変わる伸縮ボールなど、普段さわったことがないおもちゃの体験をしました。



見て見て、ほら、
封筒から出すと、
イラストに色がついてるよ。

みんなでひとつの物を
作ってる途中～。
できたかどうかは内緒～。



こうやって、たくさんの
子どもたちにおもちゃを紹介して、
30年以上はたつかしら。
親子3代にわたり、
活動している人もいますよ。

手話サークル コスモス

8月24日(木)、北小学校体育館にて、17人の参加者でおこなわれました。司会進行は手話と同時通訳なので、子どもたちは、目も耳も働かせての参加となりました。手話を使つてのゲームや、手話を使わないジェスチャーゲーム、声を出さず口の形だけの伝言ゲームなどを通して聞こえない人の感じ方の体験をしました。

休憩時間中だけど、聞いちゃお。
ハンカチってどんな手話？



みんなの名前を
手話で教えるよ。
覚えてね。



子どもたちとの
コミュニケーションから、
「友だちはいいもんだ」の手話ソング
ができることがわかり、急ぎよ、
お披露目してもらいました～。

大口マジッククラブ

8月26日(土)、西児童センターにて、15人の参加者でおこなわれました。トランプや新聞紙、折り紙など、身近にある物を使つてのマジック披露だけでなく、子どもたちにわかりやすくタネ明かしをし、家に帰ってもできるようにとの配慮もありました。出前講座は初の大口マジッククラブさんでしたが、あっという間に子どもたちをマジックの世界に引き込んでいました。



3枚のカードから
作られた七福神の絵が、
上の2枚を入れ替えると、
ひとりいなくなって
しまうんだよ。



先生、わかりやすく
教えてくれて、ありがとう～。
家に帰ってもやれそう～。

新聞を開くと、ハートから、
スペードにかわりますよ～。



ちょっと、いいこと。



あなたの住む町、働く町の福祉×ボランティアについて発信します

Part2

テーマ 視覚障がい者(目が見えない・見えにくい人)について知ってちょ!

1

身近なところに!
視覚障がい者の方を支えるツール

★音声編★

ピョピョ



音響信号機

進行方向が青の時に音が出る信号です。

南北は「ピョピョ」、東西は「カッコーカッコー」といったように、進行方向によって流れる音や曲が異なります。



音声パソコン・
スクリーンリーダー



テレビの音声解説

例えとして、テレビでドラマを見る時、主音声だけでは分かりにくい人物の動作や情景を声で伝えます。音声ガイドや副音声とも言われます。



〇〇から電話です

スマートフォンの
読み上げ機能・アプリ

音で
伝える

2

視覚障がい者の方には
話しかけるときは

視覚障がいをお持ちの方は、路上や人混みの中で突然声をかけられても、相手が誰なのか、誰に話しかけているのか判断が付きません。

正面から声をかける、または肩や腕にそっと触れて話しかけると安心されます。



私たち、大口町で
ボランティア活動をしています★



基本情報

結 成：昭和60年
会員数：女性8名
年 代：50代～80代
活動日：毎月第3金曜日
依頼に応じて随時活動

音訳ボランティアたんぽぽ



議会だよりや社協だよりを音訳して視覚障がい者の方へお送りしています。また、町民体育祭や大口町表彰式など様々な行事に協力し、司会の役割を担っています。

私たちのアピールポイント

少人数ながら和気あいあいと活動しています

ボランティアに関する相談、随時受付中!

問合せ先 大口社協ボランティアセンター

TEL 94-0060 FAX 94-0059

E-mail chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp

その他の視覚障がい者に関わるボランティア

●ガイドボランティアあい♡あい

●点訳フレンド

前号でご紹介した点訳フレンドの結成年に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。誤：平成2年 正：昭和61年



あなたのところに、うるおいとやすらぎを!

フリースペースれんげそう

■日 時

10月	11月	12月
26日	30日	21日

午後1時30分から3時まで

■場 所 大口市健康文化センター4階 和室

■対象者 「こころが疲れているな…」と感じる方

■参加費 100円

■問合先 社会福祉協議会 電話 94-0060

フリースペースとは?

ここに病のある方やご家族のみならず、地域のみなさんが、仲間やボランティアとゆったりとした時間を過ごす『ほっとできる場』です。

仲間やボランティアとお茶を飲みながら、おしゃべりをしたり、気分転換をしたり…そんな時間を持ってみませんか。



善意だより

社会福祉に役立ててほしいと、大口市社会福祉協議会にあなたから寄付・寄贈が寄せられました。厚くお礼申し上げますとともにご報告します。順不同(6月1日～8月31日 取扱い分)

社交ダンス倶楽部大口 様	20,000円
由榮 紀之 様	10,000円
匿名	1,000円
匿名	成人用おむつ
株式会社シルビア 様	ドーナツ1,200袋
匿名(大口町・扶桑町の住民の方)	
フードドライブ食料品8件107個	

社協フードバンク・フードドライブにご寄贈いただいた食料品は、生活や食べ物にお困りの方などに対する食料支援や、地域のふれあいサロンに配布させていただきました。ありがとうございました。

大人16名、子ども3名が参加 町内福祉施設見学バスツアー

8月9日、バスに乗って町内をぐるっとめぐり、大口町の福祉施設を見学するバスツアーを実施しました。

当日は小中学生を含む19名が参加。実際に施設の中を見学したり、職員の方から詳しい話を聞き、参加者から「日頃疑問に思っていたことを職員の方に聞いてよかった」、「大口町にいろんな施設があることを知ることができた」と感想をいただきました。



ゴールドエイジ大口



御桜乃里



ハートフル大口



初めて
車いすに
乗ったよ!

外出時の移動手段にお困りの方を支援 運転ボランティア養成講座



6月21日、名鉄自動車専門学校の方に講師を務めていただき、運転ボランティア養成講座を開催しました。

当日は3名が受講し、ボランティア活動について社協職員から説明を受けたあと、安全運転講習などの実技を行いました。

第37回大口町障がい者スポーツ大会 参加者募集

10月7日(土) 10:00～12:00 中央公民館 集会室

大口町にお住まいの障がいをお持ちの方が対象で、障害種別は問いません。

申込み・問合せ先 社会福祉協議会 TEL 94-0060 FAX 94-0059

申込期限
10/6
まで

大口町防災啓発事業を社協が受託 災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害ボランティアコーディネーターとは、災害発生時に社協が中心となって設置する災害ボランティアセンターにて、被災者のニーズ把握から、ボランティアの受付、送り出し、資材の貸出など多岐にわたる役割を担う人材のことです。

社協は年1回、災害ボランティアコーディネーター養成講座とあわせて、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しています。災害ボランティアに興味のある方、災害ボランティア活動に意欲のある方の受講をお待ちしています！

- 日 時 12月2日(土) 10:00～16:00(予定)
- 場 所 健康文化センター屋根付き駐車場及び1階多目的室
- 対象者 町内在住・在勤で、災害ボランティアに興味がある方
災害ボランティアコーディネーター、災害ボランティア活動経験者、町内防災・災害関連ボランティア団体等
- 定 員 20名
- 参加費 無料
- 内 容 座学、実践(災害ボランティアセンター設置運営訓練)



令和2年度 屋外での設置運営訓練の様子

身体障がい者日帰り旅行



参加者募集

- 日 時 10月30日(月)
- 行 き 先 昼神温泉(長野県阿智村)
- 対 象 者 大口町身体障害者福祉協会会員及び
身体障害者手帳1級・2級をお持ちの方
と介護者(内部疾患の方を除く)
- 交通手段 大型リフト付き観光バス(車いすの方も
安心してお出かけいただけます)
- 定 員 20名(定員になり次第締め切ります)
- 参 加 費 4,000円

手話ボランティア養成講座 手話を始めてみませんか

「手話に興味はあるけど、何から始めればいいのかわからない。」「手話って難しそうだし…できるかな?」など、いろいろと不安な気持ちをお持ちの方へ。初心者の方にやさしくお教えします。

聴覚障がい者の言語である手話を学び、スムーズにコミュニケーションを取ってみませんか?

- 日 時 11月2日、9日、16日、30日
12月7日、14日 ※すべて木曜日
10:00～12:00
- 場 所 健康文化センター 4階 ふれあい2
- 対象者 町内在住・在勤の方
大口町以外の方は要相談
- 定 員 10名(定員になり次第締め切ります)
- 参加費 500円(テキスト代を含む)
- 講 師 大口町手話サークルコスモス会員
- 協 力 大口町手話サークル

全6回講座

- 申込み 災害ボランティアコーディネーター養成講座、
身体障がい者日帰り旅行、手話ボランティア養成講座 同時申込受付
10月2日(月)午前9時から 窓口及び下記の方法で受け付けます(先着順)

- 申込先 **社会福祉協議会** 電話 94-0060 FAX 94-0059
E-mail chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp